

第2回市民ワークショップ アンケート結果

1. ワークショップ概要

① 目的

将来の新庁舎の役割を検討する。また、それを踏まえ、新庁舎のコンセプトを考える。

② 対象

中学生以上の市内在住者・在勤者による応募者 67名

③ 実施日時

① 2023年9月24日(日) 14:00~17:00

② 2023年9月25日(月) 18:00~21:00

③ 2023年9月30日(土) 14:00~17:00

④ 実施場所

生涯学習センター201

⑤ アンケート回収状況

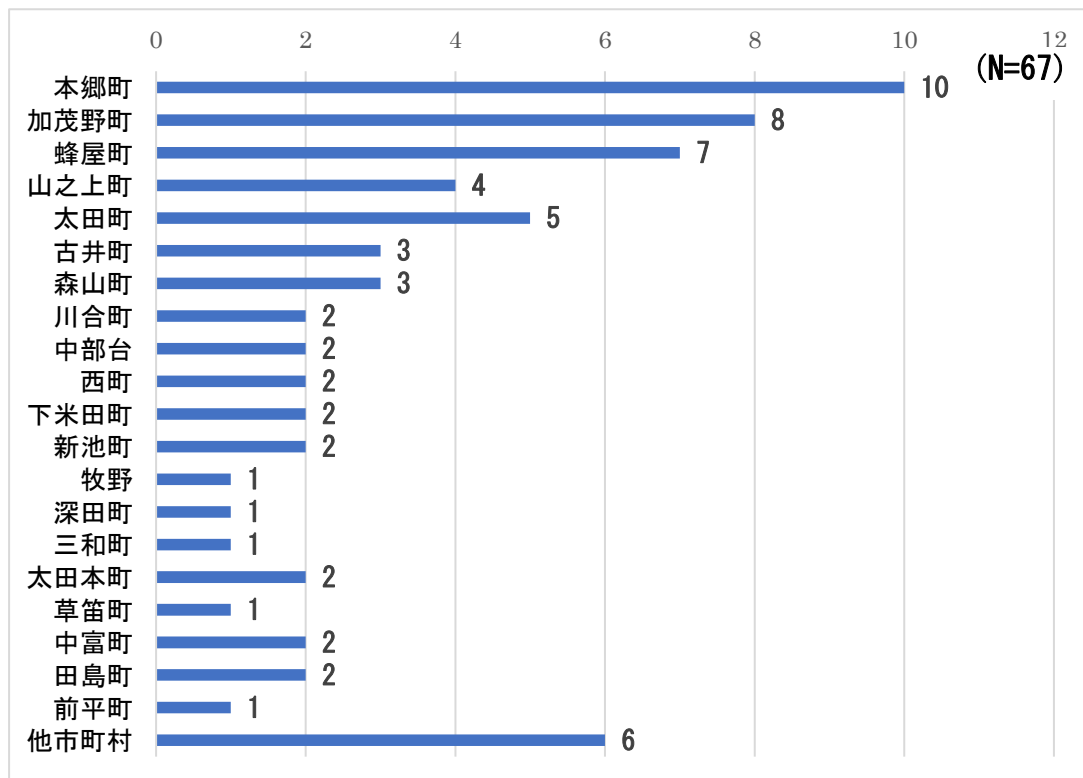
51件 回収(紙:33件、Google フォーム:18件(10月3日))

2. ワークショップ参加者の属性

(1) 住所

本郷町が最も多く、加茂野町、蜂屋町が続いた。

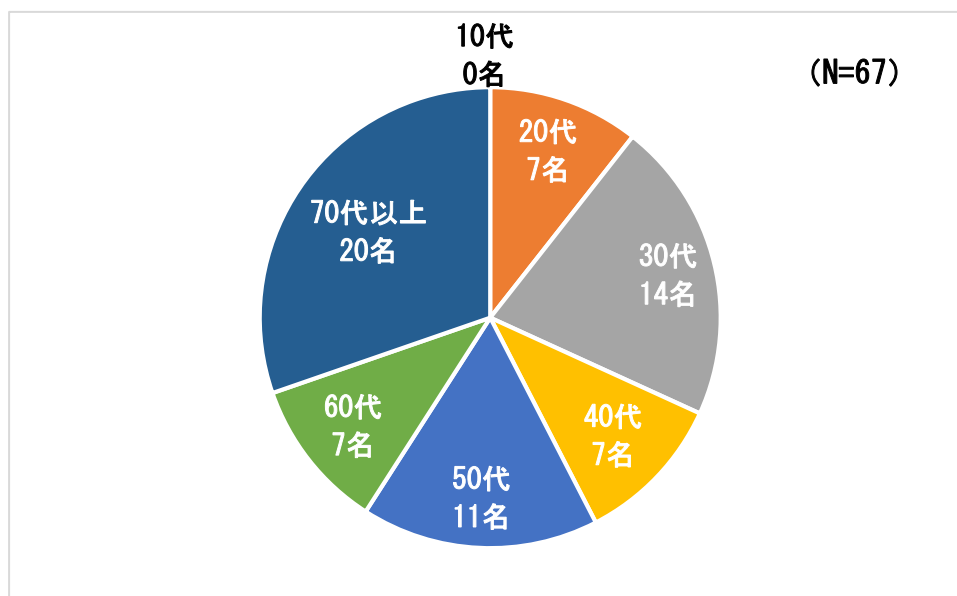
図表 1 参加者の住所



(2) 年代

70代以上が最も多く 20 名、次いで 30 代が 14 名、50 代が 11 名と続いた。

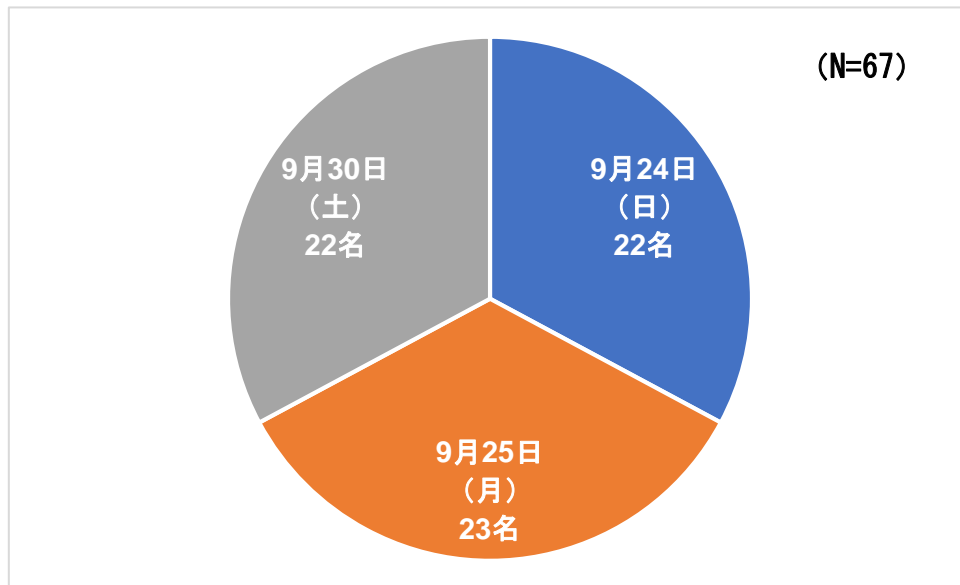
図表 2 参加者の年代



(3) 参加日

平日は夜間、土日は昼間の開催であったが、各日程満遍なく、参加があった。

図表 3 参加日別参加人数



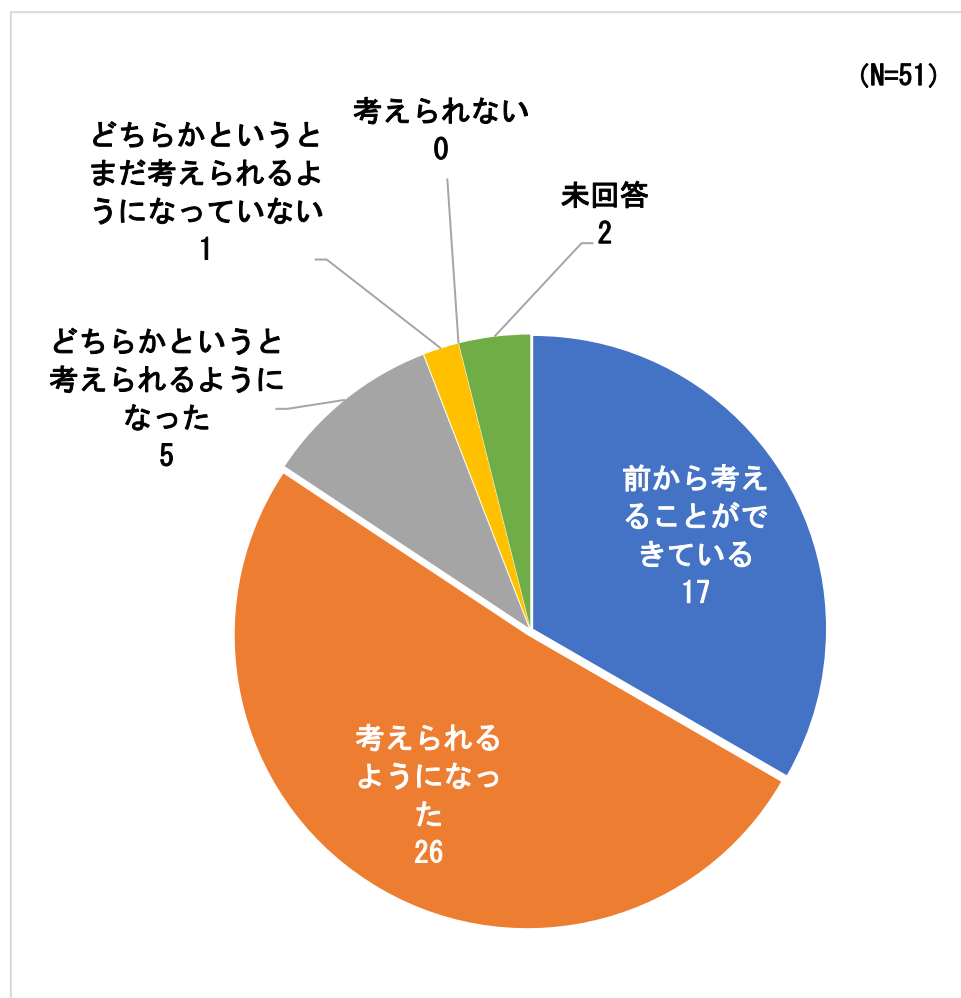
3. アンケート結果

問1. 「新庁舎の役割」を考えることができましたか。

「考えられるようになった」が最も多く、次いで「前から考えることができている」が続いた。「前から考えることができている」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」を合わせると、94%が考えることができたと回答した。

	回答者数【N=51】
前から考えることができている	17
考えられるようになった	26
どちらかというと考えられるようになった	5
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	1
考えられない	0
未回答	2
合計	51

図表 4 「新庁舎の役割」について

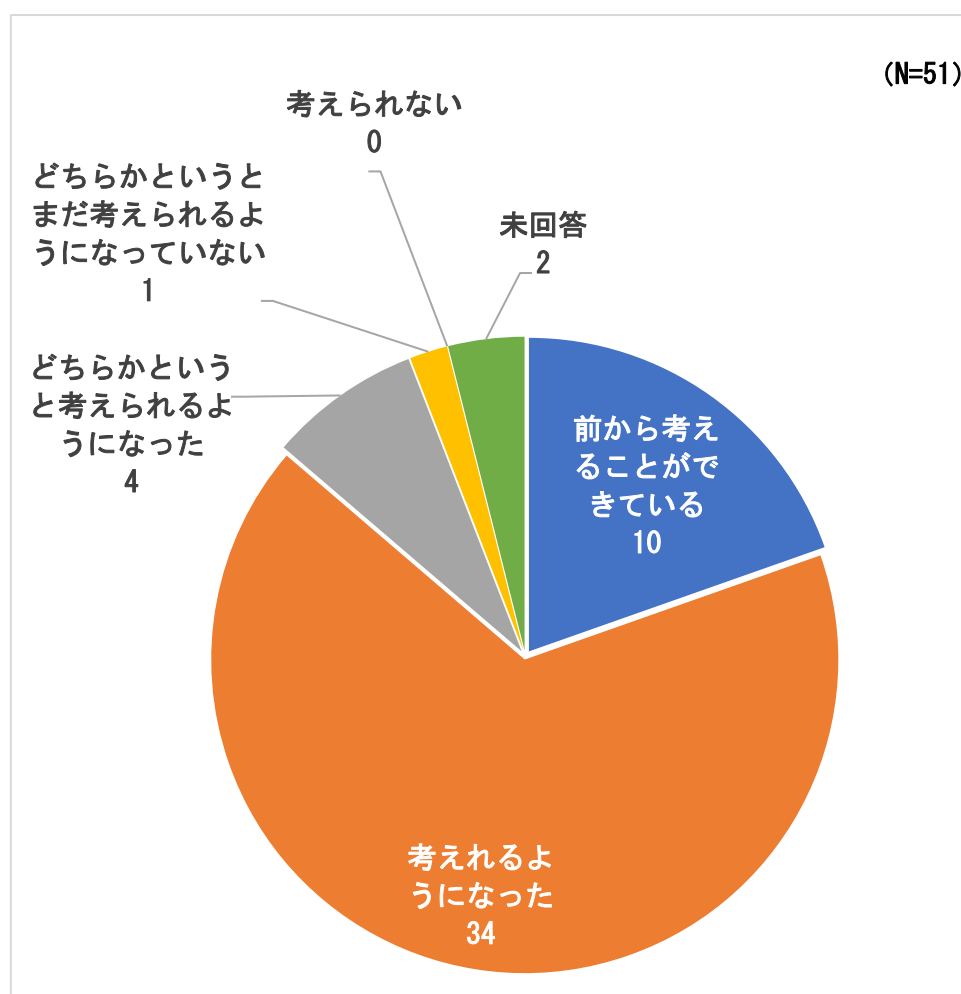


問2. 「新庁舎のコンセプト」を考えることができましたか。

「考えられるようになった」が最も多く、次いで「前から考えることができている」が続いた。「前から考えることができている」「考えられるようになった」「どちらかというと考えられるようになった」を合わせると、94%が考えることができたと回答した。

	回答者数【N=51】
前から考えることができている	10
考えられるようになった	34
どちらかというと考えられるようになった	4
どちらかというとまだ考えられるようになっていない	1
考えられない	0
未回答	2
合計	51

図表 5 「新庁舎のコンセプト」について



問3. 本日のワークショップに参加され、新庁舎の役割・コンセプトに必要であると思ったことがあれば教えてください。(自由記入)

「安心して市民が集える場所」といった、市民が行きやすく、安心して利用できる庁舎という意見が多く出された。一方で、「コスト」に関して、費用をかけすぎないことや、新庁舎に最低限必要な役割・機能のみを持たせることについての意見が出された。また、ワークショップについて、他者の意見から自身の考えを再考できたといった意見もあった。

【安心して市民が集える場所】

- ・市民が集える場所でありたい
- ・行きやすい役所
- ・市民が安心して集える場所、もっと気軽に立ち会える場所
- ・皆が安心、安全に行ける庁舎を望みます
- ・だれでも気軽に
- ・安心安全な新庁舎には、しなやかボディ&市民のますます対話力
- ・市民の安全、安心な暮らしを守る
- ・安心して相談できる
- ・「となりの新庁舎」

【使いやすい新庁舎】

- ・すべての人（市民・職員・企業等）が使いやすい新庁舎

【住みやすい市】

- ・日本一の住みやすい市になってほしい

【分庁舎】

- ・どこでも新庁舎というキャッチフレーズ

【立地】

- ・立地条件

【見越した計画】

- ・50年後100年後を見越した計画が必要である

【ユニバーサルデザイン】

- ・妊娠から出産まで何十回病院に通うかを考えて、私は中部医療センターにこども課があってよかったと思う。それに、あじさい広場があるから、園の手続き等のときよかった。ユニバーサルデザインの1つだと思います。

【災害時の対応】

- ・新庁舎の役割として一番必要な事、防災拠点としての機能、他行政機関と円滑な災害対応ができるようにしておく、又、災害発生時の対応として民間会社等と協定を結んでおく。
- ・災害に強い建物と言う意見も聞かれたが、美濃加茂市民の防災意識がそれほど高いとは思えない。美濃加茂に限らず消防団に問題があるのは認識しているが、これほど消防団に人が集まらないのは、防災の優先順位はそれほど高く無いのでは。地震で倒れなくて、川水に流されなくて建物だけ残っていても動ける人員がいなくては。見学できていないので間違っているかもしれないが、文化の森の管理棟二階には、緊急時の会議室が整備済と聞いている。

【共生する庁舎】

- ・若者と高齢者の共生する庁舎
- ・行政として「住民福祉の充実・向上」を図る政策を出す。但し、当然ながら公正・公平の精神を忘れない！

【市民】

- ・庁舎がシンボルになるのではなく、市民が主役になれるような市役所であること

【コスト】

- ・Bグループ(9/30)の考えに共感できた。連絡所の強化、新庁舎に注力しすぎる。コストをかけすぎるのはちがうと思う。
- ・要望を詰め込みすぎてコストをかけすぎないこと
- ・新庁舎には、行政手続きの事務をする場所、将来や過去の事業や予算の検討や検証ができる様、資料や書類などが安全に確実に保管できる場所であれば十分だと思います。
- ・人が集まれる場所は既に沢山ある。いろいろな団体や組織、市役所の各課、自治会などが行事をしても、思うように人は集まらない。新庁舎に多目的ホールの様なものを組み込めば一時は賑わうかもしれないが長くは続かない。
- ・前回のワークショップで、9割以上の方が年に1回市役所へ来るぐらい、市役所へくる頻度は低い。ところがみなさん、市民が集う場、まるでサッカーやライブに集まるような所に新庁舎なってほしいと言う。広くて立派な施設づくりはお金がどれだけかかるか？結局できるのは地味なものになり、市民(ワークショップ参加者)はがっかりしてしまうのではないか。

【市民協働】

- ・市関係者(役職員、市民、市議員)目的をもった共同の働きを求める
- ・地方自治に係わる規則などがあるかもしれないが、市議会議場も閉会中は一般市民が会議室などとして使えたら良いと思う。固定された机や革張りの椅子が必要だとは思わない。

【プライバシーの確保】

- ・問題を抱え相談に来た市民の個人情報もしっかりと保護できるだけのスペースは必要だと思います

【ワークショップ】

- ・人それぞれ種々雑多な意見がある、その話を聞いて自分の考えを再考する機会が得られた
- ・様々な意見があるけど、みんな言いたいことは近いと思った
- ・多様な意見
- ・市役所メインという視点をやめてみるのもおもしろいと思う
- ・コンセプトはDNA ですから、沢山有れば良いと思います。この中でシンボルになるスローガンの言葉が見つければ幸いです。
- ・R4 に実施したアンケートに必要な事がまとまっていると考えます。大切にすべき視点の中にコンセプトのヒントがあり、現庁舎にもとめるものの中に新庁舎にもとめる答えがあると思います。
- ・コンセプトは全体を貫く基本的な概念です。初めてコンセプトを考える方にとっては難しかったかもしれません。
- ・コンセプトについてもう少し説明があった方が良いと思いました。スタバは第3の場所のコンセプトをもとに立地、インテリア、使うカップ、接客方法等を決めている。
- ・特別に報酬も無いのに自身の意志で応募して平日の夕刻に集まった参加者(の意見)はとても貴重だと思います。ですが、皆が集まるとか災害に強いとか、当たり障りの無いと言うか聞きさわりが良い意見が多い様に感じられた。
- ・最後発表後の意見確認は不要だった。それぞれのグループで議論をし出したことに否定的な話や今回のテーマとは異なる話がでてきてしまい後味が悪いものとなってしまった。
- ・多文化共生、防災等、どれも重要な様々な意見があるため、うまくまとめる手腕が必要

【新庁舎整備】

- ・広報誌などに載せて各家庭で、学校で、会社で話しあえるといい
- ・市民はもとより、市職員の本職ならびに活力を新庁舎建設を機に原点に立ち帰る好機としてとらえ、職員の意識改革も併せて啓蒙に努力、新庁舎計画に反映していただきたい。
- ・立地場所選定に時間がかかりすぎ
- ・このようなステップが必要でしょうか？
- ・建設までのステップが長すぎるように思います

【周知】

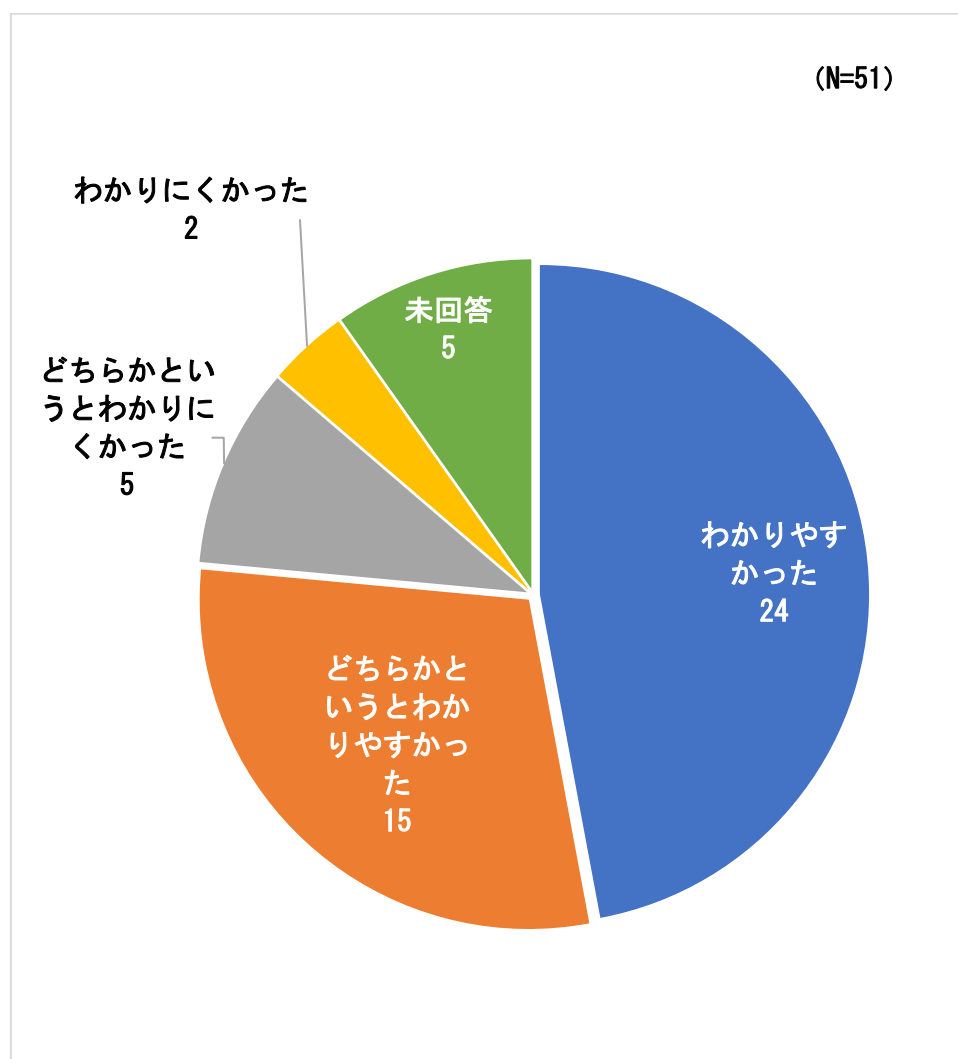
- ・未来へつなぐ新庁舎、次世代新庁舎として話し合ったが市全体に周知しているか？

問4. 本日のワークショップの説明・進行について

「わかりやすかった」が最も多く、次いで「どちらかというとわかりやすかった」が続いた。

	回答者数【N=51】
わかりやすかった	24
どちらかというとわかりやすかった	15
どちらかというとわかりにくかった	5
わかりにくかった	2
未回答	5
合計	51

図表 6 ワークショップの説明・進行について



○ワークショップの進め方について、わかりにくい・もっとこうして欲しい等ご意見がありましたら教えてください。(今後の運営で参考とさせていただきます。)(自由記入)

今回は事前に情報提供資料の送付を行っていたため、当日の情報提供時間の短縮を求める意見が多く出された。また、役割とコンセプトについて、違いのイメージが付きにくく話しにくかったという意見が出された。

【進め方】

- ・ザックリとした結論など誰にも出せないテーマで第1回を費やすのなら、だんだん具体的な設問になってきた第2回は参加者の意見も具体的になってくるので、step2 と step3 は2日に分けたほうが良かったのではないかと思います。担当課、担当者は大変だと思います。
- ・1番最後の各グループの発表の時に、意見を聞かれたが無くしても良いと思いました
- ・新庁舎の役割はほぼ決まっていると思います。新庁舎のコンセプトが重要だと思うので、ここについてもっと時間をかけて話し合いたいです。ここで話し合った内容の情報共有が大切だと考えます。

【新庁舎の役割とコンセプト】

- ・参加者には step2 の新庁舎の役割と step3 の新庁舎のコンセプトの相違がキチンと把握できていない様に感じられた
- ・役割の範囲なのかコンセプトの範囲なのか判断が難しくどのタイミングで発言すると良いのか戸惑った。ファシリテーターには、その意見は後半のコンセプトの時間で改めてなどと整理して進行してほしかった。

【情報提供】

- ・最初の情報提供が長い
- ・事前に送られた資料と同じ内容のパワーポイントなので必要性を感じない
- ・資料がバラバラだと見にくい、探しにくい、1冊にまとめて欲しい
- ・次第は前に掲示して、1人ずつはいらないと思う(ペーパーレスにして)
- ・紙が多いと思う、もったいない
- ・次第の2番情報提供について、話が少し長いと感じた。郵送書類で確認できるので、もう短縮しても良いかと感じた。意見を捻出するのに時間を要する。第一回のワークショップの内容をホームページで事前に見ていれば、話すことをまとめてワークショップに臨むことができる。しかし、ホームページを全く見ていない人にとっては、郵送された書類をみて臨むことになる。今回、郵送書類が届くのが遅かったと感じたので、もう少し早いといいかもしれない。
- ・いままでの問題点の説明が不足している

【グループトーク】

- ・グループトークしだすと、ざわざわして声が聞き取りにくい
- ・テーブルの間隔が近すぎて声が聞き取りにくいので、もっと離すか、小グループに分けて隣室で説明はリモートで聞くのはどうか？
- ・チーム内で話す声が聞き取りにくかった。テーマから外れた意見もあったように思う。

【参加者以外】

- ・職員の方が多すぎるのではないかと感じました
- ・外野の方（市議、職員）はお静かにして頂きたい
- ・話し合い中に両サイドに立たれると威圧感を感じる

【子育て世代】

- ・もう少しバランス的に、若い女性の意見が欲しいです。特に子育て世代！

【新庁舎整備】

- ・新庁舎の立地場所から入ってほしい
- ・新庁舎建設のためのポイントをついた話し合いかということ考えると考えさせられる
- ・この先どうやって進んでいくかわかりにくいです
- ・ワークショップで出た意見を出来るだけ多くを取り上げて実施して欲しい
- ・大風呂敷広げるのは夢があるが、どうするの？現実の庁舎は夢の遊園地、アミューズメント施設の中にあるようにはならず、どう終着、おとしどころつくるのか心配。
- ・200人/55000人=0.36% 周知率、市民が理解したことを確認すべき！！

【ワークショップの感想】

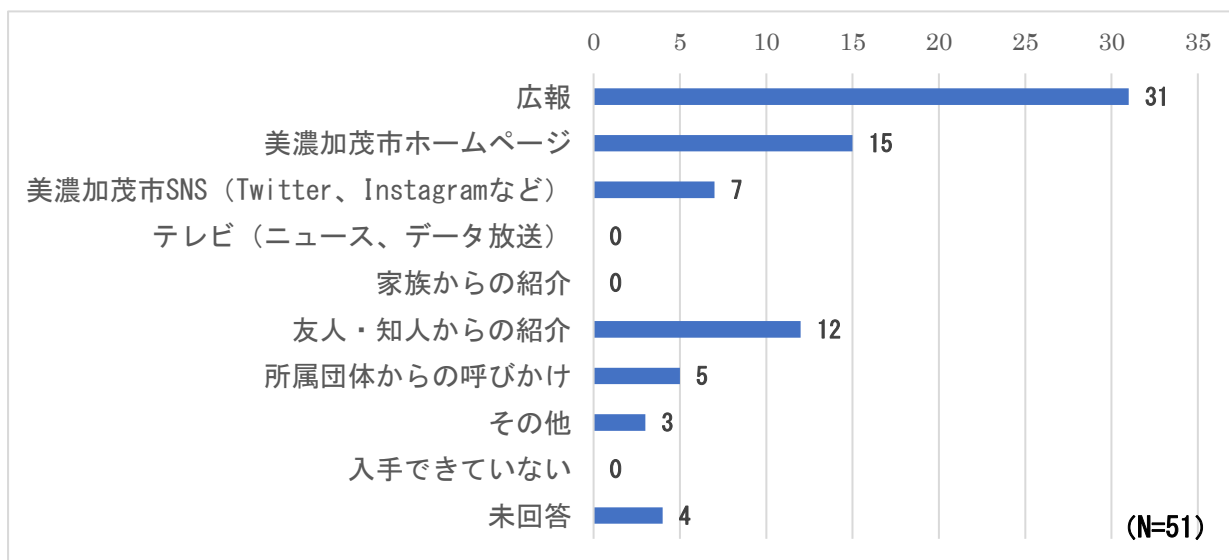
- ・ファシリテーターが場の空気をほんわかさせてくださいます。ありがとうございます。
- ・分かりやすかった
- ・良いと思います
- ・前よりわかりやすい

問5. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

第1回ワークショップ時同様、「広報」から情報を入手するという意見が最も多かった。「美濃加茂市ホームページ」「友人・知人からの紹介」が続いた。その他の意見では、「すぐメール美濃加茂」「会社にチラシ」という意見もあった。

	回答者数【N=51】
広報	31
美濃加茂市ホームページ	15
美濃加茂市SNS (Twitter、Instagram など)	7
テレビ (ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	12
所属団体からの呼びかけ	5
その他	3
入手できていない	0
未回答	4
合計	77

図表 7 新庁舎整備に関する情報の入手方法について



▼その他意見 (自由記入)

- ・すぐメール美濃加茂
- ・会社にチラシ

問6. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(自由記入)

新庁舎に対し、様々な観点から意見が出された。建設費だけでなく、維持管理費（ランニングコスト）も考慮して検討して欲しいといった意見があった。

また、今後の検討について、現庁舎や他市町村の見学や市内イベント時で周知を行うなど、より市民の皆さんに認知頂くための方策を頂くことができた。

【庁舎】

- ・開放感があり、見渡しやすい建物だと良いと思います。駐車場が広く、食事ができる場所や庭園、市民の集いやすい場所であっても良いかと思います。
- ・一階のみですべての課があって、歩いていけるバリアフリーの市役所であってほしい。他に新庁舎建設について市民は賛成しているのか？物価高で生活が苦しい市民が多いのではないかな？
- ・分庁舎式はよくない
- ・心の支えとなる居場所（気楽に相談できる場所、何人も自由に活用できる場所。）、災害にも脅かされない存在であってほしい。市役所に勤める職員が使いやすく、居心地の良い場所で仕事ができるようにしてほしい。（住民サービスでストレスが溜まると思うので、少しでも軽減できるような施設を。職員が使える食堂やフィットネス、カフェ、福利厚生を充実。）
- ・規模→自由につかえるスペース、待合スペースのニーズをどこまで満たすのか？一カ所に大、中、小、規模の建物か？サテライトか？

【立地】

- ・やはり北側の高台に（あじさいの丘付近）
- ・新庁舎のみの土地ではなく、30年後を見越した計画が必要
- ・場所の確保を優先してほしい
- ・場所→駅前商業ビル問題の方向性を決めてから考える？デジタル化により駐車場の不安は不必要になるかも、サテライトになれば不要。

【災害対策】

- ・防災で重要なのは停電したときの各地との連絡をどうするのか。公共の通信では限界があると思います。
- ・庁舎は駅前ではなく水害の心配もなく、市民や県内から車で来やすく駐車場の大きな場所に移転すべきである。

【職員の働きやすさ】

- ・職員の働きやすい環境が第一である

【予算】

- ・一時的な建設費だけでなく、維持管理を続ける予算も大切だと思う。高層階の建物だと、窓拭き一つ考えても都会の専門業者に依頼しないといけない、空調設備などの修理や交換でも大型の重機が必要になってくる。低層階(出来れば平屋)の建物であれば、窓拭きはシルバー人材センターで出来る。設備の管理や補修も市内の電気工事店、水道工事店で対応出来る。
- ・市民の憩いの場合は、別に公民館などで対応すべき、市庁舎に期待するとコスト増になります。今日の話し合いでも、同様の意見が多数派でした。用地選定が難問ですね。
- ・予算→どの位？ランニングコストも考えて、50年後、100年後の財政は？次の新庁舎問題の時の事も考える必要がある。

【市民の意見】

- ・旧基本計画に寄せる市民の意見は新庁舎建設への市民の意見とほぼ同じであることに気づく。基本理念の「にぎわいのある町の核」として新庁舎建設を強引に決め、市民をまどわせたことは認め難い。市民の判決が下されたのに相変わらず駅前庁舎建設を市民、市当局に主張するスタンスは許し難い。しかし市民が選んだ議員たちだ。屈せず市民の願いを貫徹していただきたい。
- ・だれでも、気軽に、バリアフリー、市民の声を聞け

【駅前再開発】

- ・美濃太田駅南口の再開発も同時に進めてほしい

【美濃加茂市の魅力】

- ・今日参加して改めて美濃加茂市の魅力は公園にあると確信しました。観光の目的としてのまちなか自然公園はどうでしょう。リバーポートパークのようなコンセプトで既存の公園を魅力あるパークに変えていくのです。新庁舎の隣にも音楽フェス等が出来るような公園を併設したいですね。今回も皆さんと意見を出し合える素晴らしい機会を与えて下さってありがとうございます。

【前回計画】

- ・早めにどうして駅前に決めたのか、又、それが不評だったのか、わかってもらえているのか知りたい。別の候補地が、なぜいけなかったのか、コンパクトシティのこういう条件を知りたい。いろいろ出てくる可能性のある土地について、そこではダメな理由を前もって知りたい。

【新庁舎整備検討】

- ・計画を前倒してでも、早く新庁舎を建てるべきだと存じます
- ・みんなの新庁舎であるがゆえに、みんなが知っているか？周知ができているか、つたえただけではないか？本当に伝わっているか？受け取った側は本当に理解しているの

か？市の一方的にならないぞ！！

- ・概略設計以降も大事、利用する外来者、市民にとっても日常的に使う職員にとっても、ここのツメが甘いという感じのする市庁舎もある。真剣につめてほしい。
- ・ワークショップが形式だけで終わることのないようにする。3～4年以内に完成したい。
- ・新庁舎が完成して、コンセプト通りの建物(器)が出来たね！と言えると良いですね。最近近くでも新しく庁舎が出来ています、少しでも多く見学して参考にしてください。仕事から愛知県と岐阜東濃エリアの全ての市役所、役場へ2ヵ月に1回は伺います。おそらく参考に成る庁舎もあると思います。宜しく願いいたします。

【ワークショップ/話し合い】

- ・ワークショップは良い方法だと思いました
- ・話し合いで大切なこと、テーマ・今回のコンセプト
- ・平日の18時開始はなかなか辛い。土曜日や日曜日でも日程にあるというかもしれないが、まだ水田や畑の仕事の残る時期なので、土日の昼間は無理だという人もいると思う。広く沢山の人の意見を聞く場がワークショップだと思うが、第1回よりもテーブルも参加者もが少ないのは開始時間の影響もあるのではないかと。2回に分けて19時開始の方が参加しやすいのでは。もちろん違う環境で生活されている人がいることはわかっていますが、市職員や市議会議員ではなく、参加者中心で時間設定してほしい。次回に応募しても当選するかどうかわからないので、沢山書きました。
- ・若者の意見も必要。学校でワークショップをやって欲しい。
- ・1回目に比べて参加者が少なく残念に思った
- ・テーマがわかりにくい面があるのではないかと？

【今後の検討方法】

- ・他市町村の評判の良い庁舎、施設を見学するツアーを企画して欲しい。個人では見学しにくい。
- ・突撃インタビューをする。街に出て、井戸端会議してる人、集りに参加して意見を聞く→スーパー・駅前・こども食堂・いきいきサロン、市民フェスなど人が集まっている所へ行って、話を聞く（認知度を高める為）。
- ・現在の庁舎内を知る必要があると思う→見学して良い所悪い所を洗い出してはどうか？時間がとれなければ、ビデオ撮影してプロジェクターで流す、利用者の目線で動線を確認してみてはどうか？

【感想】

- ・次回も参加したいです
- ・できあがるのを楽しみにする市民が増えていくといいですね
- ・次回ワークショップで意見します
- ・これからも一緒になって考えていきます！！
- ・色々な話を聞いてよかったです

- ・今回の意見を反映して欲しい
- ・意見を聞く場をつくってくださり、ありがとうございます
- ・この度はこのような場を設けてくださり誠にありがとうございます。本当にありがたいことです。他の人の話を聞くことで、自分の考えに幅が広がる、豊かになると感じます。私は対話文化がますます美濃加茂市の特色になると嬉しいと思いました。何かと大変かと思いますが、参加者がわちゃわちゃ楽しんでいれば周りの人も覗いてみようかなあと思われると思います。引き続き楽しく参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。
- ・ステップ5新庁舎の複数候補地等の選定ワークショップで色々な面から色々な意見をのべさせて頂きたく思っています。1. 防災拠点としてどこが一番いいのか 2. ライフサイクルコストの最適化、利便性 3. 災害時に対応出来る広場の設置、庁舎はコンパクトでも広い駐車場を確保(敷地面積の広い候補地) 4. 長く円滑に使い続けることが出来る新庁舎 5. 議会運営を高める市民力、行政に関心が薄いように思われる。努力いただいていますので、今後期待しています。